
中学部

中学部のつきたい力

- ・自分の気持ちや考えを言葉や文字などそれぞれの表現方法で相手に伝える力
- ・話し手が伝えたいことの内容を適切に捉え、捉えた内容を自分なりの言葉で表す力や行動に移す力

(1) 重点を置く指導事項

(2) 国語科3年計画

(3) 生徒の変容

(1) 重点を置く指導事項

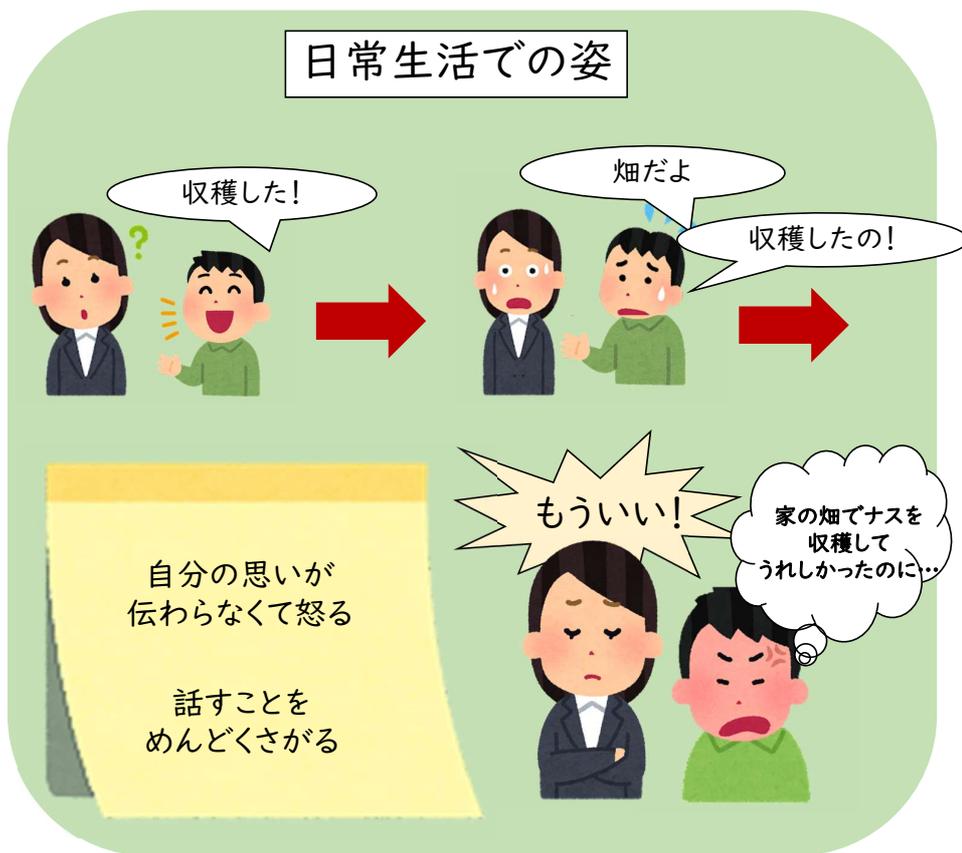
(2) 国語科3年計画

(3) 生徒の変容

◎ 他者と関わることが好き

△ 同じ話を繰り返す

△ 言葉が足りないことが多い



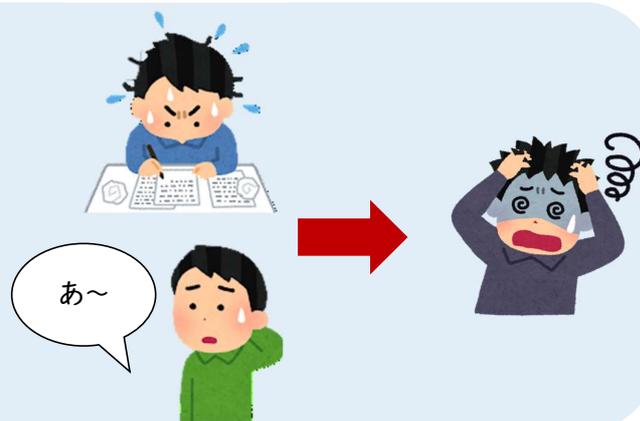
国語での姿

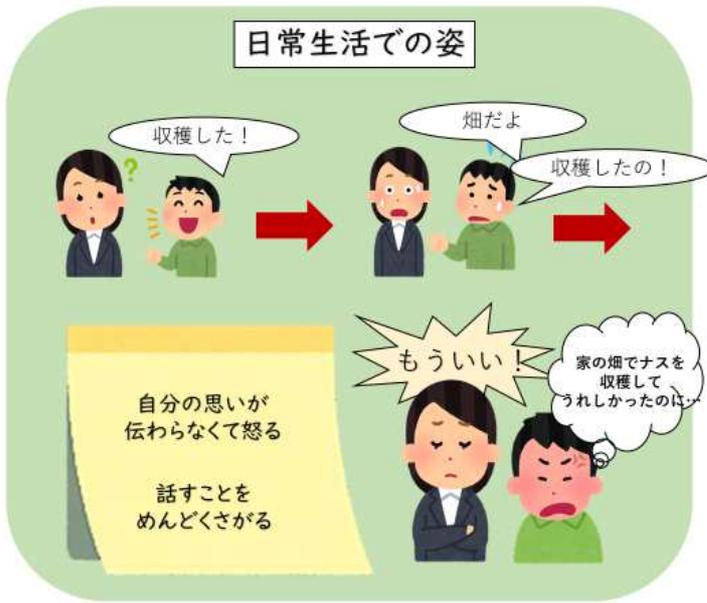
◎ 自分で考えようとする姿が見られる



△ 詳しく説明する活動が苦手
(様子を表す言葉の表現が乏しい)

△ 整理したりまとめたりする活動が苦手
(分類はできるので、書く前に出来事を整理してから書く活動に取り組んでいる)





-  整理したりまとめたりする活動
- 順序や構成を意識した話し方
-  くわしく説明する活動
- 比喩、様子を表す言葉の学習・5W1H

ができるようになれば・・・



他者と適切に関わることができるかも!

〈中学部1段階〉

生徒の生活の広がりに伴う事物や人との関わりの中で、言葉で様々な情報を得たり人の思いや考えに触れたりする経験や、**自分の思いや考えをまとめたり相手に分かりやすく伝えたりする経験を積み重ねる**ことを通して、日常生活や社会生活に必要な国語を身に付けることが大切である。

〈中学部2段階〉

生徒の生活の広がりに伴う事物や人との関わりの中で、**言葉を用いて伝えたいことを明確にして伝えたり、対話の経験を積み重ねたりする**ことを通して、高等部での職業教育などを意識しながら、将来の職業生活に必要な国語を身に付けることが大切である。

中学部で育成したい国語力



思いや考えを相手に伝える

自分の気持ちや考えを言葉や文字などそれぞれの表現方法で相手に伝える力

話し手が伝えたいことの内容を適切に捉え、捉えた内容を自分なりの言葉で話す力や行動に移す力

【創造的・論理的思考の側面を重視】*情報を多面的・多角的に精査し構造化する力

・説明的な文章において、的確に論理を読み取る

- ①中心となる言葉や文、情報を選択しながら、内容を捉える。
- ②文章の構成に沿って、内容を読み取る。

・自分の考えや意見などを正確に伝える文章を書く

- ①自分の考えや意見を書く。
- ②読み手が理解しやすい構成を意識して、文章を書く。

・自分の考えを明確にして伝える。

- ①自分の考えや意見を整理し、順序立てて話す。 など

【自立と社会参加】
社会で他者と共同・協働しながら、その子らしく精一杯生きる

相手に伝える力

経験したことや、考えたことを具体的に相手に伝える

自分の思いや考えをもつ

順序立てて考える

自分の思いや考えをもつ

「話題の設定、情報の収集、内容の検討」

順序立てて考える

「構成の検討」

高等部に向けて

高等部

他者との「コミュニケーション能力」の育成
話すこと・聞くこと（話し合うこと）

中学部

相手に伝える力の向上・・・対話

重点的に取り上げる指導事項

「話すこと」「書くこと」

- ・「話題の設定、情報の収集、内容の検討」
- ・「構成の検討」

(1) 重点を置く指導事項

(2) 国語科3年計画

(3) 生徒の変容

相手に伝える力の向上

伝える内容を具体的に

順序立てた伝え方

国語科3年計画

- ・反復的に取り組めるように、「話題の設定、情報の収集、内容の検討」「構成の検討」を指導する単元を毎年配列する
- ・国語科で身に付けた「見方・考え方」を働かせられるように行事や体験活動と相互の関連を図る
- 指導の時期や指導の方法などについて相互の関連を考慮して指導できるようにした

指導計画作成上の工夫（反復的に取り組む）

各領域の単元の数

領域名	単元の数
話す・聞く	11
書く	10
読む	6
知識及び技能	9

重点を置く指導事項を
取り上げる単元

17 / 36

※ 「36」は3年間で取
り扱う単元の合計数

指導計画作成上の工夫

国語科3年計画

説明的な文章を
中心に学ぶ年

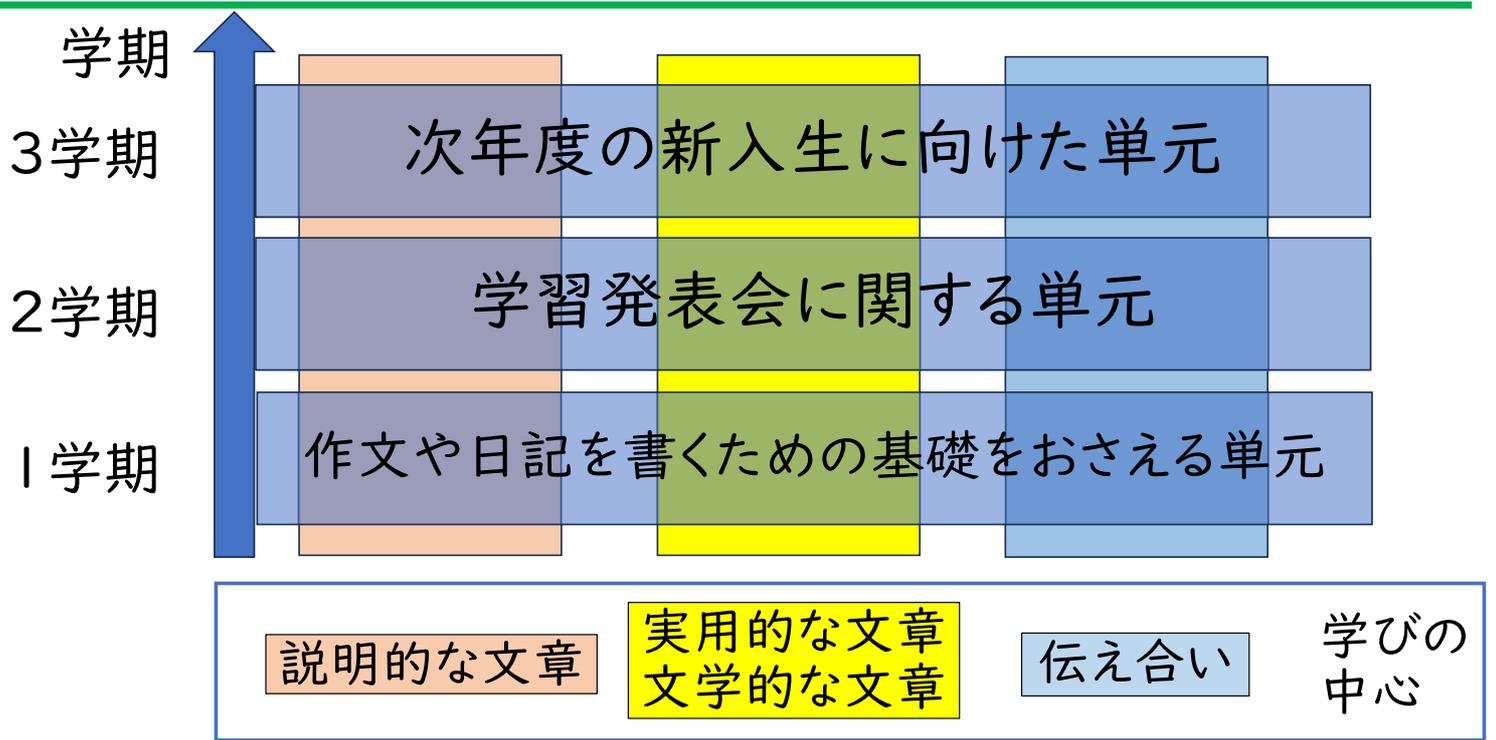
実用的な文章
文学的な文章を
中心に学ぶ年

伝え合いを
中心に学ぶ年

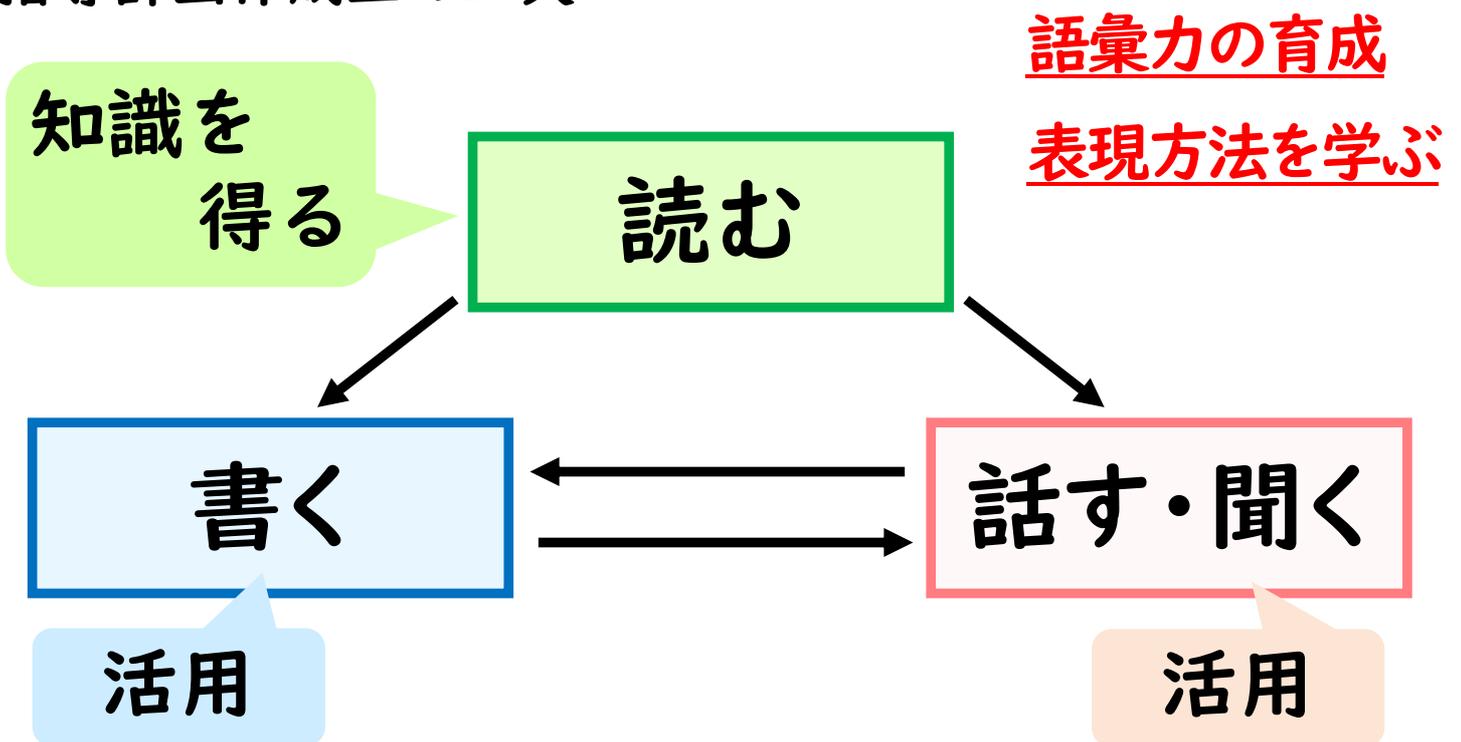
「話題の設定、情報の収集、内容の検討」
「構成の検討」

→どんな順番で学習しても生徒たちに偏りなく指導を行うことができるように、3年計画を立てた。

国語科3年計画（行事や体験活動と相互の関連を図る）



指導計画作成上の工夫



指導計画作成上の工夫

大きな単元のテーマ

小単元:指導事項 ③

小単元:指導事項 ②

小単元:指導事項 ①

複数の小単元を関連付けて一つの大単元を構成し、小単元の一つ一つで個別に指導事項を指導する。

いくつかの指導事項を関連付けて、より効果的に指導することができる。

文章の構成における指導の工夫と課題 (R4、R5の成果から)

指導の工夫 → 思考の焦点化、思考を視覚的に整理する



工程の並べ替え



想起して書く

① カップのふたを開けます。
② お湯を練まの^まのところまでそそいで3分待ちます。
③ 湯切りをして、ソースを入れたら完成です。
最初に「カップのふたを開けます。」
次に「お湯を練まの^まのところまでそそいで3分待ちます。」
最後に「湯切りをして、ソースを入れたら完成です。」

手順を表す接続詞に言い換える

課題

学習活動を分けるため、授業時数が増える場合がある

(1) 重点を置く指導事項

(2) 国語科3年計画

(3) 生徒の変容

生徒A 1年生時

夏休みの日記

花 火大会に見てまらした
いろいろながたちの花火
があ、とそれいして

△ 思い出したこと順に書いている

→ 「はじめ、なか、おわり」の構成になっていない

生徒B
2年生

クラス活動日の作文

つちのみんなは、おはよう
おはよう。いしかあけりつ
としかんをいずかばは、
ともだちと本をよめたのし
た。せいで、いづの本をよ
めてよめた。おはよう。お
んは、フコスで、たへました。また
しが、大ナキ、カナル、ボナー、フ
さ、たへて、いしか、たへ、
いと、アイスと、マカロンを、
へて、いしか、たへ、
いしか、いしか、おはよう、
かんに、いきました。サンリオで、
るか、あたの、いしか、
です。サンリオで、
おいか、たし、みたこと、
す。おまは、く、つ、かん、
の、かん、つ、つ、
さん、あて、ま、た、
です。か、み、
い、か、あ、
り、か、ま、
い、う、は、
し、か、た、
し、か、た、
し、か、た、

- 「はじめ、なか、おわり」の構成が
できている
- 時間の順序を表す接続詞を使って
出来事を時系列順に書いている

ポスター発表の内容について

- ① 実践授業（構成の検討）
～生徒の困難さと有効な支援～
- ② 読書活動を通じた取組

中学部の実践授業

単元名

言葉で絵を伝えよう

話す・聞く

「構成の検討・考えの形成」の指導

中学部の実践授業（本単元の目標）

2. 取り上げた指導事項

・共通、相違、 事柄の順序 など 情報と情報との関係 について理解することができる。	【知識及び技能】 (小1・2年知(2)ア)
・相手に伝わるように、行動したことや経験したことに基づいて、 話す事柄の順序 を 考える ことができる。	【思考力、判断力、表現力等】 (小1・2年思A(1)イ)
・言葉が持つよさに気付くとともに、楽しんで読書をし、国語を大切にして、思いや考えを伝え合おうとする。	【学びに向かう力・人間性等】

説明的な文章を
中心に学ぶ年

6〜7月 たんぽぽのちえ

- ・季節や時間を表す言葉を意識する
- ・たんぽぽの知恵について、様子とわけに整理して内容を理解する

・「はじめ〜なか〜おわり」の文章の構成を知る

9〜10月 こんなものみつけたよ

- ・「はじめ〜なか〜おわり」の文章の構成を使って、ポップコーンの成長に関する成長記録を書く
- ・各時期における観察のまとめを、時間を表す言葉を使って接続する

11月 馬のおもちやの作り方

- ・分かりやすい説明の工夫を知る
- ・「まず、はじめに、つぎに」などを用いた説明文を読み、順序に関する接続表現を知る

11〜12月 馬のおもちやの作り方

- ・各作業班の作業工程（1つの製品ができるまで）を、工程ごとに整理し、事柄の順序を表す言葉を使って説明文を書く

1月 言葉で絵を伝えよう

- ・イラストが完成するまでの工程を整理し、事柄の順序を表す言葉を使って説明する

朝読書

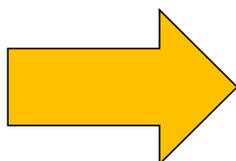
昨年の課題

- ・本を読む際、写真や挿絵だけを眺めている
- ・同じ本を何度も繰り返し読み続ける（他の本に興味を持たない）



朝読書

読書に親しむために・・・



読書（読む）

伝え合う（話す・聞く）

読み聞かせでは、全員が同じ本を読んだ後、感想を伝え合う活動を設定した。

期間を設け、その中で読んだおすすめの本を紹介する活動を設定した。

分科会での協議題

○学校生活と関連付けた国語の授業の取組について

→ ・日々の日記や行事の作文

・次年度の新入生に学校生活を紹介する

○自分の伝えたいことを相手に適切に伝えるための支援や工夫について

→ ・手掛かりとなるもの（写真等）の順番を考える

・付箋や並び替えをしてから文章を書く